【学校通信】

平成29年5月11日

第7号

西中の風

伊丹市立西中学校長
大西　規之

うれしい手紙

　ゴールデンウィークもあっという間に過ぎてしまいました。少しは自分のこともできたでしょうか。
　１年生も部活動に参加するようになり､いよいよ、学校が本格的に動き出しました。学校に行きたくないと思い出したり、学校や学級にも慣れ少しいい加減な気持ちが出てきたりする時期です。
　１年生は「林間学校」、２年生は「トライやる・ウィーク」、３年生は「修学旅行」と、これから大きな行事があります。改めて緊張感を持ち直し、この後の生活を再スタートしてください。
　さて、私のもとに何通かの手紙が届いています。１つはこの３月に卒業していった３年生から、もう１つが２月に新入生保護者説明会の前にご講演いただいた元校長先生からです。
　１つめの手紙についてです。「新しい学年になったこの時期にこの１年間頑張ろうと思うことを目標として立ててください」と始業式で生徒に話をしました。生徒に言った手前、私自身も目標を立てました。少し欲張りすぎたかもしれませんが、１０個の目標を立てました。立てた目標は校長室のロッカーに貼っています。その内の一つが昨年から続けている「朝、校門付近をきれいに掃除し、子どもたちをきれいな環境で迎え入れる」ということです。その様子を見ていたこの春の卒業生が書いてくれた手紙です。
①卒業生の手紙から（抜粋）
「校長先生が毎朝校門付近で掃除をしているのを見て、私も掃除の時間、キッチリとすみずみまでしないといけないなと思っていました。そして実行もしました」
「校長先生は毎日朝早くから門の前の掃除をしてくれていましたね！！『ありがとうございます！！』とても気持ちよく朝登校することができました。校舎の掃除もありがとうございました」
「２年間ありがとうございました。校長先生は私が朝練で早く学校に来ていたときも、毎朝校門前を掃除していたし、８時くらいになると毎朝校門よりも外に出てきて挨拶をしてくださっていました」以上
　３月の卒業式前にもらった手紙です。このように感じてくれた生徒がいてくれたことが本当にうれしく、たいへん励みにもなります。「自分もキッチリと掃除を実行した」と書いた人には特にすごいと思いました。これからも落ち着いた環境で子どもたちが生活できるよう環境整備していきます。そして、生徒はよく大人（教職員、保護者）の姿を見ているということも意識して、よい見本となるよう行動しなければならないと再認識しました。

　さて、２つめの手紙についてです。
送り主は市内で校園長先生をされ、２月の新入生保護者説明会の前に「思春期家庭教育学級」でご講演をいただいた和久一美先生からの手紙です。その時の新入生の保護者の皆様の姿に感心されて後日校長あてにお手紙を送ってこられました。ちなみに和久先生は８中学校を同じ講演会で廻っておられます。
②和久先生の手紙から（抜粋）
　「微動だにせず話を聞かれ、時間にはピッタリとそろっていらっしゃる保護者はなかなか無いですよ。この保護者に育てられている子どもたちは楽しみですね。受付をされている方もそれぞれに温かく素敵でした」以上
　講演会直後、直接和久先生から保護者の皆様の姿についてお褒めの言葉をいただきました。そして、後日再度このお手紙をいただきました。ちなみに受付をされていたのはＰＴＡ執行部の皆様でした。
　この手紙以外にも外部の方からいろいろな話をいただいています。本校の元校長先生からは、「西中の家庭の教育力のすごいところは、新学期（又は新年）に新しい靴を履いている生徒が多いこととカッターシャツがきちんとアイロンがけされている生徒が多いことである」という感想をいただきました。
　私も保護者の皆様のすごさを最近実感しました。５月２日（火）の部活動懇談会全体会が終了したときのことです。司会者からの「たいへんお手数ですがお座りになっていた椅子を体育館の後ろの壁まで運んでください。片付けにご協力願います」の言葉が無いにもかかわらず、自然発生的に、自主的に保護者の皆様が椅子を片付け出されたことです。あっという間に体育館に並んでいたすべての椅子が、片付けられました。本当にすごいと思いました。本校の家庭の教育力の高さをいろいろなところで実感しています。教職員一同、保護者の皆様のご支援のもと精一杯頑張っていきますので、これからも本校の教育にご協力願います。